追悼　故　福居和彦　教授

総合科学部外国語コース第二群（ドイツ語専攻）の福居和彦教授は、去る六月二十日夕刻腺癌のため逝去された。まだ五十六歳という働き盛りでの死は、先生がその的確な判断力と温厚な人柄とによって、常にドイツ語教室の良きリーダーでありつづけただけに、われわれにとって痛恨の極みである。いつもはきわめて冷静な先生が、文字どおりドイツ語教官の先頭に立って、ついに念願の外国語コース設立を果たされたことや、カリキュラム上の数々の難問を克服して、ドイツ語インテンシブ・クラスを軌道に乗せることに成功された時のご努力は今もわれわれの脳裏に焼き付いている。それには並々ならぬ忍耐力や地道な説得活動と工夫が必要だったはずだが、先生は常にそういうことをさしたる力みも見せずに、淡々とやってしまわれた。このところ毎年のようにドイツ語専攻生の中から国費留学生をドイツに送り出せるのは、福居先生のあの時のねばり強い努力の賜物である。先生はまた、知る人ぞ知る、類い稀なる語学力の持ち主でもあった。特に、先生の卓抜な独作文能力には舌を巻くばかりで、ドイツ人が手を加える余地を認めないほど完璧な日本小説の独訳に、同業者としてひそかな嫉妬と羨望の念を禁じ得なかったのは私一人ではあるまい。ドイツ語教室の大黒柱であった福居先生を失った痛手を癒すすべなどもとよりないが、先生がその基礎を築かれた外国語コース・ドイツ語専攻の充実に努め、良い学生を一人でも多く育てて、世に送り出すことが、先生の精神の火を燃やし続けることであると肝に銘ずるものである。

福居先生のご冥福をお祈りします。

（総合科学部ドイツ語講座　武田　智孝）